

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 臼井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail: info@usui-kai.com



祭屋よさこい演舞2022 (令和4年8月6日)

新型コロナウイルスに感染

理事長 臼井 隆

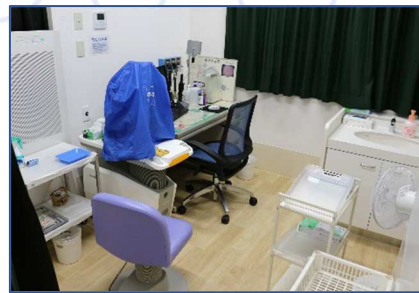
8月下旬、計4回新型コロナウイルスワクチンを接種し、感染対策に十分留意していたが、それでも感染してしまった。4回ワクチンを接種したとはいえ、100%大丈夫、とは言えない。マスク、手洗い、励行、家族間や院内においても密を避け過ぎてきたが、あっという間に感染した。同時期に職員や患者さんにも複数の感染者が発生し、クラスターとなった。入院時の抗原検査が陰性だった患者さんが、その後熱が上昇してきたため、入院2日後に改めてPCR検査を実施したところ陽性結果となった。同室の患者さんや接触した職員を検査したところ、次から次と陽性結果となり、そのことに驚いていた私の感染も判明し、一気にクラスターとなった。私は感染が分かった患者さんの一人の濃厚接触者でした。「2日後には検査をしましょう」と指揮を執ってくれている副看護部長に言われ、その時は「大丈夫じゃないか」と思っていたが、徐々に喉のいがらっぽさや咳も少し出るようになった。咽頭痛と言うほどではなく、違和感が持続、2日後には少し症状が進んだような感じでPCR検査を受け、陽性となった。その後は熱も38度を超え、全身倦怠、喉の痛み、鼻

水が持続といった症状となり入院することになった。今回のクラスター発生での教訓は、コロナ疑いがあった入院する時は、抗原検査の陰性結果だけでは安心できない、ということだと思います。100%信頼できるものではない、ということに承知していたが、改めて実感した。当院では、入院患者さんに症状がある場合、抗原検査を実施していますが、今後は抗原検査陰性であったとしても、PCR検査も実施し陰性を確認して、そこで初めて通常の感染対応とすることとしました。他の医療機関でも言われていますが、感染対応の解除を判断する際、特に高齢者や基礎疾患がある方などについては、十分な検査フロー、ct値による慎重な判断が必要となります。第7波もようやく減少傾向になりました。オミクロン株対応ワクチンの接種も始まりました。高知県においてもたくさんの方々が感染し、集団免疫獲得に近いくらいの状況になりそうです。来年にはなるでしょうが、更にコロナの症状や感染者数も落ち着き、それに伴って感染症としての扱いも変わると思います。その時には、これまでできなかった数年分の歓迎会、忘年会なども、人と人が集う諸々の会をまとめて行いましょう。

増築棟 完成。 そして改修工事へ



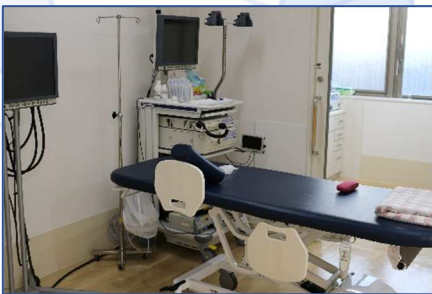
外来待合



診察室



授乳室



内視鏡室



内視鏡検査専用
トイレ付個室



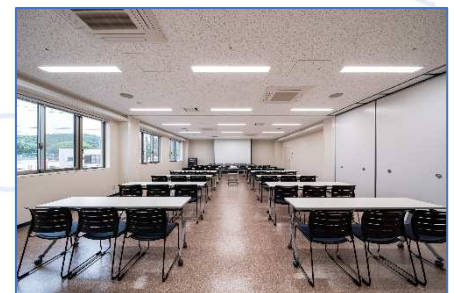
こどもトイレ



病室



職員休憩室



会議室

増築工事竣工・改修工事着手にあたって

院長 臼井 大介

本年1月に着工いたしました増築工事は、無事に竣工を向かえることができました。工事期間中は工事音の発生や北側駐車場、出入口を封鎖させていただくなど、大変ご迷惑をおかけいたしました。皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。また、コロナ禍の影響もある中、計画通り完成させていただいた西森建築設計、岸之上工務店、四電気、丸平工業はじめ工事に携わっていただいた方々に感謝申し上げます。

増築棟の1階は、外来診察室や処置室、心電図室、脳波室、内視鏡検査室を配置いたしました。特に内視鏡検査室は専用トイレ付き個室を2室整備いたしました。これまでご不便をおかけしておりましたが、大腸内視鏡検査を快適に受けていただくことができるようになりました。また、既存棟の改修工事が完了してからはなりますが、小児科診察室が増築棟に移転します(来年1月予定)。こちらには授乳室と子供用のトイレを整備いたしました。その他、通常のトイレも2箇所増設しております。

増築棟の2階は、増床した回復期リハビリテーション病棟、浴室、トイレの新設となっております。増床することにより、回復期の対応はもちろん、急性期や在宅支援の入院対応につきましても受け入れを強化し、地域の皆さまの安心に貢献してまいりたいと考えております。また、これまで以上に地域の病院や診療所、介護施設、行政機関等の方々と連携をさせていただき、住み慣れた地域で完結することのできる医療を目指してまいります。

増築棟の3階は、災害発生時には対策本部となる大会議室や災害用倉庫、仮眠ブース付き職員休憩室等となっております。当院では、非常用電源の強化、貯水タンクの増強を昨年から実施してまいりました。日本では大きな災害が毎年のように発生しており、高知県もいつ被災しても不思議ではありません。患者さん、職員が安心して過ごすことができるよう、今後も着実に整備を進めてまいります。

さて、現在は既存棟の改修工事に入らせていただいております。通常の診療を行いながらの工事進行となることから、大変申し訳ございませんが、皆さまには増築工事の時以上にご不便をお掛けすることもあるかと思っております。期間は来年3月までを予定しております。引き続きのお願いとなりますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

改修工事の主な目的といたしましては、1階は安心して快適に受診ができる広い待合や診察室の整備となります。新型コロナウイルスの発生により、人が多く集まる場所に対して、人々は大きな不安を感じるようになりました。特に医療機関は、高齢者や免疫力が低下している状態の方が多く集まる場所ですから、何となくこの課題を解決したいと考えております。増築棟は広い待合スペースを確保いたしました。既存棟におきましても、外科前、内科前の待合を拡張する予定としています。

2階は、入院患者さん用の食堂スペースの拡張、手洗い洗面台やトイレの増設、ご家族控室、職員用のカンファレンスルームや休憩室の設置等となっております。

3階は、医師増員に伴う医局の拡充、ミーティングやオンライン会議の増加に伴う専用室の設置等を計画しております。

全面建て替えではありませんので、現時点で可能な範囲ではありますが、患者さんやご家族にとってより良い療養環境を目指すとともに、日々対応する職員にとっても働きやすい職場環境の整備を進めてまいりたいと考えております。これからも法人理念である「共生」のもと、地域医療、介護の提供に努めてまいります。引き続きご理解とご協力、ご支援の程、重ねてお願い申し上げます。

「北側ロータリー」のご利用開始について

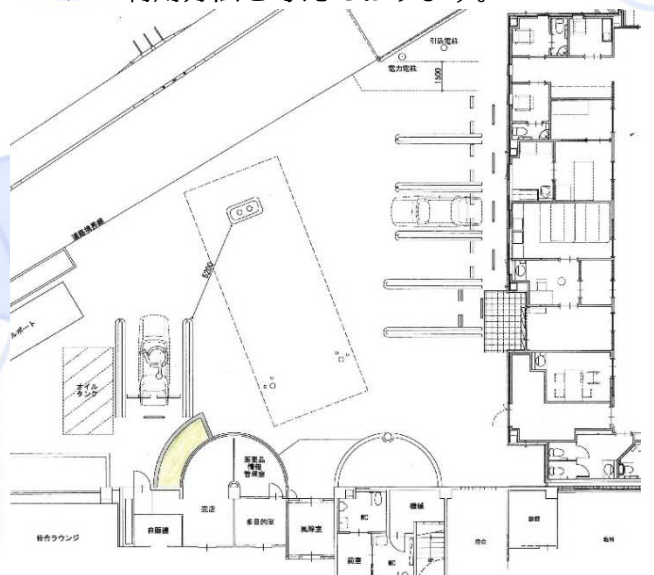
事務長 吉松 誠爾

工事に伴う病院北側の駐車場閉鎖により、長期間ご不便をお掛けし申し訳ございません。このたび駐車場に新棟を増築したことで、駐車スペースとしては6台（障がい者用1台含む）のみとなりました。

駐車台数が大幅に減ってしまいましたが、今回の工事にあわせて2点の改善をいたしました。1つめは「大屋根の設置」です。雨天の際、濡れずに乗り降りがしやすくなると考えております。2つめは「階段の撤去」です。車椅子やストレッチャーで来院される方も多くいらっしゃいますので、敷地全体をなだらかなスロープになるよう変更し、病院への出入りをしやすくいたしました。少し傾斜がつきましたので、車椅子等の介助の際は手を離さないようご注意ください。

主な駐車場は現状のとおり病院南側となりますので、大屋根のある北側は駅のロータリーのようなご利用をしていただけたらと思います。ご家族等の運転で来院される際には、まず受付に近いロータリーで降りて、運転手の方にはそのまま南駐車場に移動していただく、といったご利用方法を考えております。

ご利用いただける予定日は、【10月15日頃】となります。出入口の拡張をいたしましたので、安全に出入りできるよう歩道の縁石位置の変更工事の完了後となります。平日の午前中は出入りが多くなると思いますので、場内での運転はスピードを落とし、安全に走行していただき、ロータリーでの乗り降りの際にはスムーズにご移動くださいますようお願いいたします。



ただひとりの最愛のお客様…



業革推進部長 兼 地域まると支援部長 明神 聡

夏の甲子園も終わり新チームがスタート。今は春の甲子園に向けて秋季大会が始まっている。甲子園出場チームの90%以上が丸刈り。なぜか高校野球=坊主は今も昔も変わらないトレードマーク。我が家にも高校球児1年生がいる散髪は月に1度、愛する息子の為に「バーバーSATOSHI」が開店する。入学時は、今まで通っていた美容室で切って、いや刈ってもらった。坊主は経験がないと言いつつ、そこはプロの腕、とっても綺麗な丸刈りで入学式を迎えたが、高校球児の息子には、とにかく時間がない。朝練がある日は、午前4時に起床し5時には学校へ向かう、朝練、授業を受けて夕練を終えて帰宅するのは21時。なかなかのハードスケジュール、机に座って寝るのも仕方がない。先輩から言われた「今日中に短くせんといかん。」



「了解、いらっしゃいませ」深夜営業22時オープン。髭剃りシェーバーは毎日お手のものだが、バリカンはどうも勝手が違う、あらゆる方向からせめて最終的に丸になったら正解。アレンジ不要、雰囲気イケメン。男はだまって丸刈り上等、ただ、おしゃべりなんだな君は父に似て。

またのご来店をお待ちしております。



令和4年度

地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた
研修医の先生方をご紹介します。

- 1 今回の研修で学び得たことを教えてください。
- 2 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。
- 3 指導医、職員の印象を教えてください。
- 4 将来“こんな Dr になりたい!!”という Dr 像があれば教えてください。



おうち まよ
大内 麻代 研修医
(国立国際医療研究センター病院)
研修期間
令和 4 年 6 月 20 日～7 月 18 日

出身地：東京都
出身大学：群馬大学
趣味：謎解き、読書
舞台鑑賞など



- 1 医師だけでなく、介護職やコメディカルについても人手不足は深刻であるということ。
- 2 訪問リハビリで訪れたご夫婦が、初めは旦那さんが脳梗塞になり介助が必要になり、その後介護をしていた奥さんも脳梗塞で介護が必要になってしまった結果、現在は旦那さんが奥さんの介護をしている現状というのを拝見したのが大変印象的でした。
- 3 先生方もスタッフの方も大変丁寧で、忙しい中でもとても教育的でした。
- 4 患者さんやご家族に寄り添い、その方にとっての最良を考える、努力のできる医師になりたいです。



おおき しょうへい
大木 将平 研修医
(国立国際医療研究センター病院)
研修期間
令和 4 年 7 月 19 日～8 月 14 日

出身地：東京都
出身大学：慶應義塾大学
趣味：ランニング、料理
読書、海遊び



- 1 当初のイメージより患者さんが多く、慢性疾患を抱えている方も多かったです。外来も入院も田野病院の先生方は常に大忙しでした。農業従事者が多い分、生活習慣病はやや東京より少ないものの、運動器の病気が多いのは印象的でした。また先生方も専門性を持ちつつあらゆる疾患に対応できる総合力をもって診療にあたられており大変勉強になりました。病院の機能としても田野病院は回復期・慢性期に軸足を移しつつも、緊急手術症例や救急対応は高知東部地域では最東の砦であることから続けられており、地域のニーズに応える病院機能を現場から経験させていただきました。
- 2 近森先生と臼井理事長との緊急手術、井川先生の認知症外来、臼井大介先生との小児神経・発達外来、島崎先生との乳幼児健診、各リハビリ研修などいずれも田野病院の特色を存分に研修させていただきました。
- 3 先生方は長いキャリアの中で経験や知識を積まれた上で専門性と総合力を活かして診療にあたり、高知と高知の人々を深く愛して止まない熱いハートを持っている印象です。
- 4 一人でしっかり診療できる Dr.



しおみ まさあき
塩見 真章 研修医
(県立あき総合病院)

研修期間
令和 4 年 8 月 29 日～10 月 2 日

出身地：高知市
出身大学：高知大学医学部
趣味：水泳



- 1 高齢独居の方や、老々介護で病院に通うのも難しいような患者さんはとても多く、訪問診療や訪問介護、ヘルパーなどがいかに必要であるかを実感することができました。また整形外科的な疾患を抱えている方は本当に多く、地域の整形外科医のニーズが高いことも知ることができました。
- 2 外来リハビリや回復期リハビリ、通所リハビリでも自宅に帰ることを目標に、それぞれの患者さんに合ったリハビリを考えてやってもらったのが印象的でした。
- 3 どの先生方も優しく、丁寧に指導いただいととても勉強になりました。その他の看護師さんやリハビリの PT, OT, ST さん、検査部や薬剤部のみなさんも、お忙しい中色々教えてくださいました。なかなかリハビリや検査の方々にお話を聞く機会は多くないので良い経験になりました。
- 4 短い診療の中でも患者さんの話をしっかり聞いてあげられるような医師になりたいです。

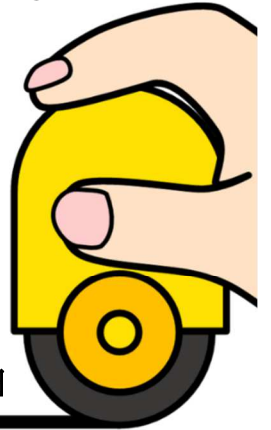
個人情報保護研修(職員向けセミナー)を実施しました

経営企画部 総務課 小山 栄治

令和4年8月に個人情報保護研修を実施しました。感染対策のため、ほとんどの職員がオンラインで受講をしました。医療情報は大変デリケートな情報ですので、医療従事者に限らず病院職員全員に守秘義務が課せられています。また、病院を退職しても資格をなくしても守秘義務を守らなくてはならないことを本研修で職員に再確認してもらいました。日常の業務の中で配慮をしなければならない点も多くありますので、定期的に研修を行い個人情報保護と守秘義務を再認識していければと思います。



開催期間：令和4年7月26日～8月2日



個人情報

を守ろう

— SAIYA —

祭屋よさこい演舞 2022

在宅ケアセンター

病院 南駐車場



総合リハビリテーションセンター屋上

3年ぶりの待ちにまったよさこい祭りがついに開催されました!! 今年には新型コロナウイルスの影響もあり、よさこい祭り完全復活というわけではなく、特別演舞という形での開催となりました。演舞中以外はマスク着用となりましたが、8月6日に田野病院での演舞では涙を流しながら患者様が見ていたとの話も聞き、10月11日に行われた本祭では沿道のお客さんの温かい声援や「やっぱり高知の夏はよさこいやね、頑張りよ」など励ましの言葉もいただき、僕自身、嬉しく、本当に楽しく踊り切る事が出来ました。来年こそはよさこい祭りが完全復活する事を祈りつつ、新型コロナウイルスも少しずつ収束していけば…と思っています。皆さんも油断することなく感染対策をよろしくお願いします! (リハビリテーション部 理学療法士 横内 克之)



田野スポーツ教室



皆さんこんにちは。リハビリテーション部所属の作業療法士 白井晴隆です。たののに登場するのは新人紹介以来ですね。

冒頭にもありますが今回スポーツ教室を始めることになりました。対象の方は当院小児神経外来に通院している子供たちです。

開催に向けてのきっかけは院長先生との話からになります。運動が苦手な子供たちが気軽に運動できる環境があったらいいよね、格闘技は指導が厳しくて一般の教室に通うのは敷居が高いよね、だったらうちが通いやすい教室を開いたらいいよね、それなら僕がやりますよ、そんな流れがあったわけです。

学生時代はボクシングでインターハイや選抜、国体などに出場するほど熱心に取り組んでいました。また以前の職場で小児リハビリでの運動にボクシングを取り入れて好評だったこともあり今回立候補したわけです。

当院に通っている子供たちのために楽しくそれでいて自信に繋がるような運動が提供できたらいいなとワクワクドキドキしています。

急な議案にも関わらず協力してくれた事務長や総務部、リハビリテーション部の方々のおかげで準備はとんとん拍子で進み10月から開始できるようになりました。リハビリテーション室の一面に設営しましたので皆さんもストレス発散に遊びにきませんか？



地域の皆様の健康増進を目的とした「健康教室」を毎月第4金曜日の11:00より開催しております。専門職ならではのバラエティー豊かな講義を行っております。ご予約不要！！参加者に限りワンコイン(500円)で入浴券をご購入いただけます。



「誤嚥性肺炎について」

令和4年7月22日(金) 11:00~12:00
リハビリテーション部 言語聴覚士 山中 孝訓

誤嚥性肺炎の予防というテーマで講師をさせていただきました。

誤嚥性肺炎は、飲み込みが悪くなり肺へ食物が入りやすくなることで起こる恐ろしい病気です。飲み込みが悪くなることを嚥下障害といい、好きな物や十分量食べることができない、また誤嚥性肺炎になりやすい、など非常に苦しい状態になります。嚥下障害では、誤嚥性肺炎のリスクがあることから食事の制限がされることが多いです。それにより、体重減少や全身・飲み込みの筋力が弱くなり、さらに誤嚥性肺炎リスクが高くなる悪循環に陥りやすくなります。

誤嚥性肺炎の要因としては、代表的な疾患は脳卒中ですが、その他にも加齢や運動不足、栄養状態が悪くなると飲み込みの筋肉が弱ることがあります(家から1歩も出ない、十分食事を食べず極端に痩せる等々)。この中でも運動不足や栄養状態が悪いことは、適度な運動習慣や適切な食事ですら予防できる他、生活習慣病予防にも共通することなので一石二鳥な取り組みです。また食べる・嚥む機能を保つため歯の健康が必要であり、定期的に歯科受診もオススメです。

誤嚥性肺炎になることで健康な生活が困難になり、生活の質は低下します。しかし病気になる以前、元気な時から外出やコミュニティに参加するなどの活動的な生活を過ごすことで誤嚥性肺炎予防のみならず、無病息災で過ごせるのではないのでしょうか。



たのしい保育園

水あそび



製作
..
手型
(魚)



たなばた
七夕



編集後記

今年は蚊に悩まされることが少なかったと思います。猛暑の影響で活動が鈍り、暑い間は草むらに潜んでいるそうです。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、私たち人間も活動を控えていたけれど、経済活動を考慮した結果この夏の感染爆発。あとどれくらい分からないけれど、蚊のように潜んでばかりはいられないので、感染対策を十分にしておきたいと思えます。マスクの跡が残る日焼けが笑い話になる日が早く来ますように。

回復期リハビリテーション病棟
看護師 豊永 記世子

今年は梅雨明けが早く（後で訂正がありました）、暑かったですね。しかし、子ども達には好都合！思う存分水遊びを楽しみました。今年のごっこ遊びが大流行！ペットボトルや容器に水を入れて「オレンジジュースですよ。」「ぶどうジュースください。」「イチゴアイスどうぞ。」店員さんやお客さんになりきっていました。去年はシャワーが顔にかかり泣いていた子も、今年は目をつぶり泣かずにできるようになり、成長を感じ嬉しく思いました！また来年楽しもうね！

(たのしい保育園 保育士 高橋 実佐樹)